

議会運営委員会会議録（令和4年10月14日）

出席委員 岩城委員長 竹原副委員長 大浦委員 古沢委員 開田委員 中川委員
尾崎副議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 なし

職務のため出席した事務局職員 落合局長 中田係長

午後0時26分開会

【岩城委員長】 これより議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付したとおりでございます。

日程第1、会議録署名委員の指名をしたいと思います。

竹原副委員長、古沢委員にお願いいたします。

日程第2、議長の選出方法についてでございます。

10月7日の会議で、新たな議長の選出等について各会派で検討してくださいということといたしました。その結果、先般、尾崎副議長から議長に立候補したいという申出がありました。その他のところで、志真会さんはどうでしょうか。

【竹原副委員長】 指名推選ということで進めておりまして、会派としては、皆さんのご推薦をいただけるのであれば私が出たいということでございます。

【岩城委員長】 ということになれば、その他に議長選挙に出られる人はおられるのかな、おられんのかな。

【開田委員】 おりません。

【岩城委員長】 ということになれば、今、複数の方が立候補ということになります。指名推選というのは、2人ともおられるものだから確認しますけども、竹原議員、そしてまた尾崎議員に関しましては立候補したいというご意思で、指名推選で話し合うという方法もあるわけなんですけど、どちらも出られるという形になったので、そういうことになれば、投票で決着をつけねばならないのかなということになりますが、竹原さん、尾崎さん、よろしいですか。

【竹原副委員長】 今回の議長辞職については、不祥事ということもありますので、選挙でぜひ、議員で票を争うようなことは私はしないほうがいいんじゃないかなと思っていま

す。

あと、例えば尾崎さんが出られるのであれば、じゃ、その後の副議長をどうするのか、委員会の配属もどうするのかというところも含めてお話しされたほうが私はいいと思います。

結局、私が立候補しても尾崎さんが立候補しても、どちらかが当選した場合は、全て委員会も構成が変わってくると思いますので。

【岩城委員長】 変わってしまうし、N e t 3とか東部消防組合とか、そこらあたりもちょっと変わってくるのかなという気はしております。

そういうものも含めてということやね。

【竹原副委員長】 はい。

【岩城委員長】 そういう形であれば、事務局さん、考え方によっては、今、2人のうちどちらかという形になると思うがいちゃね。そういうような形でね。もし竹原さんが議長になれば、考え方としては、今、委員長をしとるということや。

【竹原副委員長】 はい。

【岩城委員長】 ねえ。そういう点からいけば、副委員長さんが上がられるような感じになればいいのかなという気になるし、ほって、総務文教消防委員会で一遍、そういう形になれば話し合ったほうがいいのではないかなという気しております。そして、あんた今どこ行つとる、N e t 3。

【竹原副委員長】 なん、N e t 3は行ってないです。充て職は東部消防組合。

【落合局長】 すみません。

【岩城委員長】 ちょっと聞かせて。

【落合局長】 この後、全員協で議事の流れを説明しようとは思っていたんですが、今現在、会議日程で決まっているのは、議長の選挙、そして富山地区広域圏事務組合の議員選挙、それから富山県東部消防組合の議員の補欠選挙、この3つの選挙は日程として決まっています。どなたが議長になるかによって、副議長が議長になられた場合は副議長の選挙が必要ですし、議運の委員が議長に当選した場合は委員の選任とかが加わってきます。

今その議長を投票じゃなくて指名で決めるというのであれば、それに合わせて繰り上がるポストについては全員協なりで決めていただければ、そういった流れになります。

【岩城委員長】 まずは議長を決めてくれということやな。

【落合局長】 そこが決まらないと、その後に。

【岩城委員長】 議長を決めてから暫時休憩して全員協議会を開くということ。

【古沢委員】 全員協議会の前に委員会なりをやらないと、ということでしょう。

【岩城委員長】 要は、誰が議長になったかによって違ってくるとのことや。

【落合局長】 そういうことです。

【開田委員】 議長も副議長も一気に決めてしまわんにゃあかんがじゃないがけ。

【古沢委員】 なんなん。議長が決める。

【開田委員】 そのまんまかもしれんしね。

【古沢委員】 議長が先。

【開田委員】 議長が先で、そこで委員会……。分かりました。

【岩城委員長】 どうなるか分からんからやちゃ。

【開田委員】 分かりました。

【古沢委員】 今、尾崎さんも手を挙げておられとるちゅうもんだね。竹原さんは指名推選が望ましいというお話なんけども、指名推選になるか投票になるかというのは、今2人名乗りを上げておられるわけだから、端的に言うたら、お二人の話合いがどういうふうになるかということにならざるを得ないんですよ。

それで、副議長が議長選挙に名乗りを上げるということであれば、ここをちょっと確認してほしいがいけど、副議長を辞してからじゃなくていいがけ。決まったら議長になる、そういうことなんだね。了解。

【岩城委員長】 仮に竹原さんになって尾崎さんが駄目だったということになれば、副議長は辞しとらんから、そのままでいいということなのかな。

【落合局長】 そのままです。

【岩城委員長】 何やら難しいな。

【落合局長】 あくまで上のポストというか、議長から決めていくという。

【岩城委員長】 ということで、一遍、そしたらお二方で話しして、別室でちょっとやってもらえればいい。やるとか、下りるとか、そこらあたりの話をして。そういう長い時間かけんと、こんなもん、どう言うたらいいか、だらだらと言うとるわけじゃないですけど。

【開田委員】 媒酌人で行きましょうか。

【中川委員】 そいが。次あんたとかそういう話もしてもらえりゃ。

【大浦委員】 ここで言っているいいが分からんですけども、竹原さんが、こういった事例があったから指名推選と言われたんですけど、自分からしたらですよ、逆に指名推選のほ

うが市民からしたらおかしいかって思うような気がするんですよ。

【岩城委員長】 投票で決めたということで。難しい。それぞれの見方、考え方があるから、正直言うて、2人で話していたって結局平行線だと思うんだけどね。形だけ整える。そいがやったら、それこそ投票で決するしかないがかなというような感じやちゃね。

【開田委員】 そのほうが、市民の皆さんも注目して見ておられますからいいかもしれません。また陰でこそこそって言われたら困るにかね。

【岩城委員長】 竹原さん、どう？

【竹原副委員長】 皆さんそう言われるがなら。

【岩城委員長】 複数の方がおられるもんだから、投票で決するという形でさせていただきますと思います。

まずは議長を決めてしまうということやな。

【大浦委員】 そうなったら、その臨時会の中で……。あ、臨時会じゃなくて全員協の中で決意表明。

【古沢委員】 後から言おうと思ったんですけども、前回の議長を選ぶときにも、それぞれの候補者の皆さんからコメントをいただいたんだと思うんですよ。今回ももしそういうことになるのであれば、双方からいただいたほうがいいと思う。やり方はいろいろなんだけど、これまでは本会議の前の全員協議会の場で表明してもらったということです。

それと、ついでと言うと語弊がありますが、これは前回からそうしたんだけど、別に正式なルール化になっとらんがちゃね。やってみようということでやったんで、この後、今回は今回でそのまま行くしかないと思うんだけど、私の思いとすれば、実は6年前に基本条例をつくったときにも、ちょっとだけこれ、話題になったんですよ。議長選挙の扱いについてね。今回、基本条例の中には入ってないんだけど、議長を選ぶことについて、選挙の前にそれぞれの立候補者が決意表明なり所信表明をすることを、内々でもいいけれども、議会内のルールみたいにしたらどうかなという思いがあるので、別に今回すぐに形にしようということではないんだけど、それぞれの皆さんのところに留めておいてほしいなと思っています。これ、正式にやるときにどこかまた机の上に乗せんなんと思うんですけど、そういう思いが私にはあります。個人的な思いですけどね。

【開田委員】 賛成です。

【中川委員】 去年、それぞれ選挙だったと思う。議場で決意を読み上げとったと思うんですが。

【開田委員】 なーんだちゃ。議場では挨拶だけ。当選された。

【中川委員】 あ、当選の挨拶だったね。

【岩城委員長】 全員協議会だったと思うよ。

そしたら、今回もそういうふうな形で、複数おられるなら。

【中田係長】 前は2分ずつということでお時間を設定したんですけども、同様の形でよろしいでしょうか。

【岩城委員長】 2分でいいがでない。どうですか、皆さん。

【大浦委員】 流れが多分今決まったような感じがして、お互い準備されたのかなと思うのと、あと事務局も、多分何パターンか準備されとるがですか。タイムスケジュール的に今日大丈夫なのか。

【岩城委員長】 ある程度あれはできるがだろ。

【古沢委員】 確認だけど、当事者が2人おられるんだけど、投票でいい？ 結局、何か流れでこうなっていくんだけど、話し合う……

【竹原副委員長】 一回私は会派の皆さんと話して尾崎さんとも話したいとは思いません。

【古沢委員】 そういう時間取らんでもいいがなら。

【開田委員】 終わったら、1時までの時間の間にね。

【大浦委員】 でも、議運の結果として、どちらかで行くっていうのはもう全員協で発表する。

【岩城委員長】 要は、投票するが、指名推薦するののかという形でせんにゃならんから、なもんだから、この中でちょっと話ししてもらえばなというようなこと。

【古沢委員】 だから、例えば、竹原議員がそういう思いを持っておられるのであれば、会議を一旦中断して、休憩をして、その休憩の間で会派なりあるいは尾崎さんとの協議、話合いの場を持たれるのならそれで。その結果を受けて会議を再開してこうなりましたということで全員協で報告するというスタイルになるんでしょう。ね。

【岩城委員長】 そういうふうに行きますか。よろしい？ そしたら一旦休憩して。

【落合局長】 この後の1時から予定しておりました全員協のこちらの流れの中では、議運での議長の選出方法についての協議結果を報告する流れにしています。その後で、もし今の立候補の表明なり相互での話合いの時間を持つというのであれば、そこで一旦中断することも可能かなと。

【竹原副委員長】 全員協中にですか。

【岩城委員長】 それはちょっと。申し訳ないけども、全員協、遅らせてもいいがでないがか。5分や10分。ありゃ、正直言うて、1時間ほど取ってあるから、取り過ぎやちゃ、本当のこと言うたら。そいがからいけば、全員協議会をずらす、時間を遅らせてもいいと私は思うがやけどな。皆さんどうですか。この議運中にある程度決めてしまわんと、報告せんにゃならん。

【古沢委員】 もう一つは、さっきも再々出とるように、議長選挙の結果によっては、委員会の構成なり、ほかの議会へ派遣している人の選挙もやらなきゃならないということになってくるんで、議長が決まった後、本会議を一旦休憩して協議の時間を取ってということになるんですね。

【落合局長】 そうです。

【岩城委員長】 そういうスケジュールになつとるとのことやな。

【落合局長】 はい。いずれにせよ、議長選、指名推薦か投票か分かりませんが、その後、休憩が入るという流れにしております。

【岩城委員長】 そしたら、今の現状でいけば、もう一つ、2つ目のやつを決めとかんにゃならんがじゃないがか、決議文のやつ。それだけ決めてしまえば、今のこの話、暫時休憩してもいいがじゃないかと思う。行ったり来たりするけど。今の議長選に関しては一旦一服して、決議文を皆さん方にファクスで送ったと思うがですけども、できれば本日、本会議の議長が決まった後に新議長に言ってもらうがやる？

【古沢委員】 議員提案だよ。

【竹原副委員長】 議運の委員長じゃない。

【岩城委員長】 俺が？

【落合局長】 はい。

【岩城委員長】 そいがか。

【落合局長】 この場で誰が提案理由を言うかも決めていただければいいかなとは思いますが。

【岩城委員長】 その前に、この文でいいかということを決めとかんにゃならんがね。

皆さん、その文があったと思うんですが、その文でよろしいでしょうか。

【古沢委員】 おおむねいいんですけども、上から言うと6行目、最後のところで、「警察の取り調べを受け、議員辞職するという事件があった」となっているんですけど、「事件が

あった」となると、何か自然災害があったみたいに聞こえてしまう感じに、私の受け止めはですよ、いうふうな思いがありまして、例えばです。議会として今回の事態をどう受け止めているのかというニュアンスが全く出てこないので、議員辞職する事件があったということではなくて、「議員辞職する事態となったことは極めて遺憾であり」、これがいいかどうか分からない、「議会として」、ここがちょっと微妙なところ、「おわびする」、これ、入れるかどうか。「遺憾である」で止めてもいいかなと思うんだけど、何かちょっと見たら、この「遺憾」という言葉には謝罪の意味は含まれていないんだというふうな解説もあったので、俗に言う政治家は「遺憾である」という言葉をよく使うんだけど、「遺憾である」だけではちょっと弱いような気が実はちょっとしているので、議会としてはどう考えているんだというようなことも何か含められないかなと。議会の議長という立場の人がそういう事態になったわけなので、あくまでやったのは個人の行為ではあるんだけど、議会として、あれは個人的な犯罪だと言ってしまっているのかと。

【開田委員】 いいと思います。

【落合局長】 すみません。そしたら、そこの部分を確認させていただきますけれども、「しかるに、先般、本市の市議会議長が、運転免許の取り消し処分を受け、無免許にもかかわらず、運転したとして警察の取り調べを受け、議員辞職するという事態となったことは極めて遺憾である」という表現でよろしいですか。

【古沢委員】 それでいいんだけど、個人的には「遺憾である」だけでは弱いかなという思いもちょっとあるということをつけ加えておきます。それ以上言うたら難しくなるから、それで納めとくかという気もないではないですけど。

【岩城委員長】 皆さんどうですか。

【開田委員】 今、それこそ古沢さんが言われたように、なら弱いがかって、私は高橋議員だけ悪いがで、議会はそれに対して大変迷惑を被っているんで、その部分についての触りをしないで、今言われたように、さらりとがいいと思っております。さらりと。本人だけ悪いよ。基本的に本人だけ悪いんです。「遺憾である」で止めてしまう。

【大浦委員】 ただ、議会としての決議なので、全体でやらないといけない。

【開田委員】 でも、「議員としての政治倫理及び法令の遵守を表明する決議」だから、議会人としてはそう。ただ、個人的なものとして、そういうところになって、滑川市の市議会が出すという形でもいいんじゃない？ 議会が一生懸命謝らんでも。ごめんなさい。

【古沢委員】 ただね、世の中の人から見てどう見えているかということなんですよ。こ

れは滑川市民だけではなくて、もっと広い範囲で滑川市議会がどう見られたかということにも関わるんですよ。

【大浦委員】 私も、この「事件」という言葉にすごい違和感があったんですね。あと、自分は最後に、「信頼回復に向けて全力を尽くす」ってあるんですけど、別に信頼回復に向けて今後活動していくわけじゃないので、一番は信頼の負託に応えるために議会は動いていくことであるんで、その上のほうに、「という結果を招き、市民の議会に対する信頼を失った」みたいなことのほうがいいんじゃないかなと。回復じゃなくて、あくまで下は市民の負託に応えていくということでもいいんじゃないかなと思ったんですけど。

【岩城委員長】 要は、一丸となって市民からの負託に応えていきたいという、向けて全力を尽くすと。

【大浦委員】 信頼の部分は上のほうに持っていけばどうかなと思ったんですけど、どうですか。

【岩城委員長】 事務局どうけ。

【古沢委員】 今大浦さんが言われたんだけど、基本条例の前文には、一番最後のところに「市民の信頼と期待に応えるべく」となっているんですよ。信頼回復に向けてというところがもしあるとすれば、「信頼と期待に応えるべく」というふうにしたらどうかなと。だから、最後、「一丸となって、市民の信頼と期待に応えるべく、全力を尽くすことをここに決意する」。

【岩城委員長】 そうというような形で文面をちょっと変えて。それでよろしいですか。

(異議なし)

【岩城委員長】 一遍読んでみられ。

【大浦委員】 上はどうするんですか。上はそのままいきますか？

【落合局長】 上はそのままでもよろしいですか。

【古沢委員】 上のほう。

【落合局長】 では最初から。

【岩城委員長】 ちょっと読んでみていってください。

【落合局長】 「私たち滑川市議会議員は、滑川市民の厳粛な信託を受けた代表者であり、高い倫理感と責任をもって議員活動を行うとともに、法令の遵守に努めなければならない。

しかるに、先般、本市の市議会議長が、運転免許の取り消し処分を受け、無免許にもかかわらず運転したとして警察の取り調べを受け、議員辞職するという事態となったことは

極めて遺憾である。

私たち市議会議員は、市民全体の奉仕者として、常に人格及び倫理の向上に努め、公人として市民への説明責任があることを改めて強く認識し、行動しなければならない。

滑川市議会は、今後、さらに自ら襟を正し、なお一層政治倫理及び法令の遵守に努め、一丸となって、市民の信頼と期待に応えるべく、全力を尽くすことをここに決意する」。

【大浦委員】 私はいいと思いますけど。

【岩城委員長】 なら、それに書き換えて。

ということは、案文については今の文でいきたいと思います。

一応一致ということになりましたので、議会運営委員会……

【落合局長】 議会運営委員会にしますか、全議員にしますか。

【岩城委員長】 全議員のほうがいいがでないかな。どう思う？

【大浦委員】 連名にするということ？

【落合局長】 どなたが提案。

【古沢委員】 それは委員長。

【中川委員】 議運の委員長やちゃ。

【開田委員】 ね。

【岩城委員長】 内輪から出したからなお決意言わんならん。

じゃ、全員の名前にしておいて。

【古沢委員】 後で言わんならんよ。確認しとらんがやから。

【岩城委員長】 後で全員協議会で全員の文面でやりますという形に。

そしたら、一応暫時休憩して、時間がちょっと遅くなるようなことも言うて、こちらの会派さんの話、そしてまた、もし尾崎さん、空けば呼んでもらえれば。お願いいたします。待っております。

暫時休憩。

午後0時53分休憩

午後1時01分再開

【岩城委員長】 では、休憩前に引き続いて議会運営委員会を開催いたしたいと思います。

話合いということで、志真会さんのほうからお願いいたします。

【竹原副委員長】 会派の中で一応話合いをした結果、投票でやりますということです。

【岩城委員長】 そしたら、投票で決めようということになりますので、報告ではそういうふうな形にいたしたいと思います。

議事の流れというのは、まずは議長を決めてからまた暫時休憩して、結果次第によって違って来るから、休憩するということやね。

【落合局長】 はい。

【岩城委員長】 皆さん、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【岩城委員長】 事務局、何かありますか。

【落合局長】 そうすると、この次の全員協でお二方に表明というか、その時間を設ければよろしいですか。

【岩城委員長】 そうですね。お願いいたします。

そして、全員協議会、何時からになつとるか。あんたとこの準備もあるがかなと思って。

【落合局長】 15分に。

【岩城委員長】 では、議会運営委員会を閉会いたしたいと思います。

全員協議会は1時15分だそうでございます。

以上。

午後1時間02分閉会